

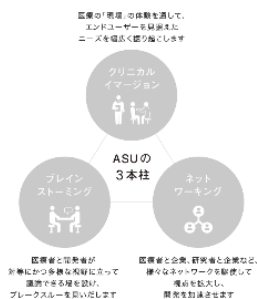
拠点の特徴：

1. 医療機器に対するアイデアを実用化に導く、4つの機能（開発推進、人材育成、治験実施、産学連携）を持ったプラットフォーム
2. 独自の現場観察支援プログラムASU (Academic Science Unit) による医療現場ニーズ探索から支援
3. アウトバウンド展開を見据えた人材育成のシステム構築と実践

拠点における取組で一番紹介したい内容

ベッドサイドソリューションプログラム (ASU)

企業開発研究者が医療現場のニーズ探索を可能とするプログラム。
デザイン思考も用いながら、事業コンセプトの創出を支援する。



臨床現場観察 ブレインストーミング ネットワーキング



医療機器開発人材育成講座

時代の変化に応じた予見性の高い革新的な医療機器開発を日本から生み出すため、医療機器開発の本質を理解する“思考力”を養成する

レギュラトリーサイエンスに基づく科学的な思考力を醸成し

- 多様性に富む医療機器開発に応用できる人材
- 開発全体を俯瞰でき開発をけん引できる人材 育成

ベーシック (全12回)

医療機器開発の多様性に対応するレギュラトリーサイエンス的思考の土台を養成。

修了者のみ対象

アドバンスド (全10回)

実例から学ぶケーススタディ、多面的思考を養うグループワークから実践的な考え方を醸成。

領域別 (全6-7回)

領域に特化した課題を深掘することで横断的な領域に対して具体的な応用方法を体験。

★2021年度に領域別コースを、
2022年度にアドバンスドコースを開講！

事業実績

【臨床現場見学（長期現場観察）】

- ・人数 53人（4年間累計 380人）
- ・企業数 5社（4年間累計 19社）

【研修・助言・指導】

- ・人数 N/A（企業数でカウント）
- ・企業数 76社(4年間累計 276社)

【ニーズ】

- ・収集件数 有効15件(4年間累計 60件)
- ・共有実績 15件（4年間累計 60件）

【シンポジウム・セミナー】

- ・開催回数 11件（4年間累計 40件）
- ・人数 3500人（4年間累計 13000人）
- ・企業数 500社（4年間累計 2000社）

拠点の支援メニュー等の紹介

- ASU：6カ月間、Aコース（クリニカルアテンド無）、Bコース（クリニカルアテンド有）、ブートキャンプ
- OBL：病棟ラボスペースの貸出し（コンセプト検証用）、6カ月単位（1床部屋、4床部屋）、備品貸出し
- 人材育成講座：年1回開催 ベーシックコース10名程度、アドバンスドコース（領域別含む）10名程度
- 開発コンサルテーション、メディカルライティング指導等の提供
- 医療機器開発関連のシンポジウム・セミナーの開催

■ ASUの実績(2014-2022)

- ・新規事業：7件
- ・特許出願：21件
- ・抽出ニーズの展開
新規共同研究締結 17件
学術指導 117件

■ 人材育成講座の実績(2019-2022)

- ・ベーシックコース参加者：129名(47社)
- ・アドバンスドコース参加者：9名(6社)
- ・領域別コース参加者：16名(11社)